

かじき図書館だより

平成24年度

9月号

TEL 62-2605

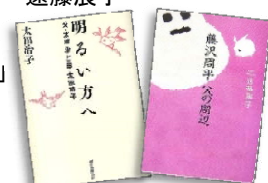
今月のテーマ展示

作家たちは年老いた両親や亡くなった父や母との繋がりをどのように描いているのでしょうか。親と子の絆に触れた作品を選んで展示しています。



「ゲゲゲの娘、レレレの娘、らららの娘」
水木悦子、赤塚りえ子、手塚るみ子
「母-オモニ-」 姜尚中
「かすていら」 さだまさし

「明るい方へ 父・太宰治
と母・太田静子」
太田治子
「藤沢周平 父の周辺」
遠藤展子



8月4日(土)に

【とくもりおはなし会 なつやすみ理科教室】
を開催いたしました。

今回は、鹿児島県昆虫同好会の中原さんと竜門小学校の川口先生にご協力頂き、昆虫のおはなしや表面張力の実験をしていただきました。

子どもも大人も身を乗り出しながら熱心に見つめていました。

これを機会に科学への興味を持ち続けてもらいたいと思います。



たくさんの
ご来館、ご参加
ありがとうございました！

○新着図書を紹介

一般書

- * 虚像の道化師
- * 鬼談百景
- * 南へ舵を
- * カラマーゾフの妹
- * 白ゆき姫殺人事件
- * ココロコネクト キズランダム
- * おおかみこどもの雨と雪
- * 白い馬
- * 重力とは何か
- * 非業の生者たち-集団自決サイパンから満州へ-
- * あたらしい日用品
- * トライアスロンはじめました。
- * 薬膳お菓子
- * こんなに使えるヨーグルトのレシピ
- * 匂いのエイジングケア
- * カウンセラーが語るモラルハラスメント

- 東野 圭吾
- 小野 不由美
- 佐伯 泰英
- 高野 史緒
- 湊 かなえ
- 庵田 定夏
- 細田 守
- 東山 魁夷
- 大栗 博司
- 下嶋 哲朗
- 小林 和人
- 野中 秋世
- 辰巳 洋
- ほりえ さちこ
- 五味 常明
- 谷本 恵美

児童書

- * 妖怪温泉
- * くまさんのおたすけえんぴつ
- * ペコペコざかな
- * くまの皮をきた男-グリムの昔話-グリム
- * いぬのおしりのだいじけん
- * りゅうのぼうや
- * はっけん！ がっこうのあっ！
- * さがしています
- * 空へのぼる
- * ぼくのプールサイド
- * アッチとドララちゃんのカレーライス
- * わたしはみんなに好かれてる
- * アーヤと魔女
- * 呪いの訪問者
- * 消えた恐竜のなぞ
- * サツマハオリムシってどんな生きもの？
- 広瀬 克也
- アンソニー ブラウン
- 菅野 由貴子
- ピーター ベントリー
- 富安 陽子
- 石津 ちひろ
- アーサー ピナード
- 八東 澄子
- 今井 恭子
- 角野 栄子
- 令丈 ヒロ子
- ダイアナ ウィンジョーンズ
- クリス プリーストリー
- 大野 太郎
- 三浦 知之

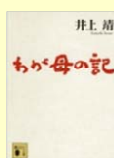
図書館員おすすめの1冊

わが母の記

今春、映画化され話題となった、文豪井上靖の自伝的小説である。80歳の母の老いを綴る『花の下』、85歳の母の崩れていく日常を描いた『月の光』、89歳の母の死の前後を記した『雪の面』からなる三部作。

「自分は親から捨てられたのだ」という憎しみが小説への原動力になったのだが、長じて母への怒りは消えることはなかった。しかし、痴呆となった母の口から、幼き日の或る詩がこぼれおちたとき、涙と共に母を許す気持ちになった。親に対する様々な感情の機微の表現は、さすが井上靖、と感動すら覚える。

母の老いに対峙し、生の本質に迫る名著である。「敬老の日」を前に、誰もが避けては通れない親の生と死について考えてみるきっかけになるかも知れない。



わが母の記 / 井上 靖 著
(講談社)

9月のカレンダー

9月のカレンダー						休館日
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8★
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24	25	26	27	28	29

★...おはなし会



今月のおはなし会は、
9月8日(土)
午前10時30分からです。
ぜひご参加ください！
お待ちしております♪